

解 説

新年度に入った日経225先物取引

新しい年度に入った4月の取引状況を前期との比較に重点を置いてみていくこととする。

漸増する取引契約金額

4月の取引高は368,619単位、取引契約金額は12兆3,175億円であり、1日平均ではそれぞれ18,431単位、6,158億円であった。これに対し前期(63.10~1.3)の1日平均をみると、取引高が19,158単位、取引契約金額が5,835億円となっている。取引高(月ベース)は前期の11月、12月に増加したあと、1月から2月にかけて若干減少し、3月に多少のもり返しをみせた。新年度に入った4月は、3月に比べやや減少したがおおむね18,000単位台を維持した。

取引高が横バイないし若干減少傾向にある中で取引契約金額は、現物指数が28,000円台から32,000円台へと上昇したのを受けて、1日平均は前期の5,000億円台から4月は6,000億円を超える日が多くなった。

参考までに TOPIX についてみると、昨年末に一時取引高が急増した時期があったが、傾向的には日経225とほぼ似た状況にあり、4月の取引状況は取引高が1日平均12,000単位、取引契約金額が3,000億円となっている。

日経225及び TOPIX の取引状況(1日平均)

	日経 225 先物		(参考) TOPIX 先物	
	63.10 } 1.3	1.4	63.10 } 1.3	1.4
取 引 高 (単位)	19,158	18,250	19,315	12,046
取引契約金額 (億円)	5,835	6,158	4,526	2,985
建 玉 残 高 (単位)	(期末) 17,072	(月末) 18,250	(期末) 28,176	(月末) 26,854

(注) TOPIX 先物取引の数値は東京証券取引所発表のデータによる。

増加の傾向を示す建玉残高

次に建玉残高の状況を見ると、日経 225 先物の前期の建玉残高は15,000単位台を中心に上下2,000単位の幅で推移し、ほぼ横バイの状況であったが、4月に入るとともに増加の傾向を示しはじめ、19,000単位台の日が多くなった。

一方、TOPIX の建玉残高は、1月上旬までは日経 225 とほぼ同水準であったが、1月中旬に急増し、20,000単位台に乗せ、3月末から4月にかけては28,000~29,000単位台で推移しており、日経平均よりも10,000単位多くなっている。

徐々に伸びる機関投資家の取引

建玉残高の水準と関係の深いのが投資部門別の取引状況である。日経 225 先物の前期の状況を見ると、委託の占める割合が月とともに増加しているが、とりわけ3月には銀行、投資信託、外国人を中心に委託が大幅に伸びた。

4月に入って証券会社の占める割合が多少高くなったが、委託が徐々に増えるという長期的なすう勢には変化がないと思われる。

TOPIX との比較では、日経 225 先物に比べて TOPIX の方が委託の占める割合が高く、とりわけ銀行、投資信託、事業法人、外人のウェイトの高いが目立った。

なお、これに関連するデータとして、Q-10をもとに両指数先物の寄引時の取引高の比率(寄引時取引高/全取引高)を推計してみた。その結果は下表に示すとおりであり、いずれも昨年12月(3月限)の調査時に比べれば減少しているが、TOPIX に比べ日経 225 の方が多少高くなっている。

(M.N.)

表 2

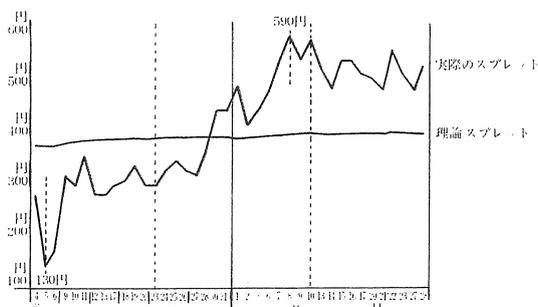
	63年12月 (3月限)	1年4月 (6月限)
日経 225	68.15%	62.73%
TOPIX	70.02%	51.89%

## 日経255先物とカレンダー・

### スプレッド

日経225先物のカレンダー・スプレッドの機会についてみてみよう。期間としてとったのは3月限、6月限共に比較的取引高の多かった1月23日～2月10日である。

下図及び右表から明らかなように1月下旬には理論上のスプレッドが実際のスプレッドを上回り、反対に2月に入ると実際のスプレッドが理論上のスプレッドを上回っている。



すなわち、1月下旬までは相対的に3月限が高く、6月限が安かったが、2月に入ると一転して3月限が安く、6月限が高くなっており、カレンダー・スプレッドの機会があったことがわかる。

下表はこのような両限月の動きを利用して、

	投資金額(A)	総利益(B)	B/A	取引コスト	純利益(C)	C/A
日経225先物3月限・6月限の売買	38,286,000円	2,900,000円	7.57%	自己 5,919円	2,894,081円	7.59%
				委託 417,340円	2,482,660円	6.48%

(注) 取引コストとして 自己 定率会費 代金× $\frac{0.04}{10,000}$  : 仲立手数料 代金× $\frac{0.006}{10,000}$   
委託 委託手数料 3億円超～5億円以下 代金×0.02%+4万円

## 情報企業の提供する日経225先物情報

日経225先物に関する市場情報は、取引所の相場情報システムその他、内外の情報企業(インフォメーション・ベンダー)を通じて広く世界の顧客に提供されている。以下はその一覧である。

月日	日経225	理論上のスプレッド	実際のスプレッド
1.23	31,332.88	383.28	290
1.24	31,557.68	386.03	320
1.25	31,567.79	386.16	340
1.26	31,511.81	385.47	320
1.27	31,646.13	387.11	310
1.28	31,679.07	387.52	360
1.30	31,567.50	386.15	440
1.31	31,581.30	386.32	440
2.1	31,360.68	383.62	490
2.2	31,498.30	385.31	410
2.3	31,685.78	387.60	440
2.6	31,828.75	389.35	480
2.7	31,880.65	389.98	540
2.8	32,065.12	392.24	590
2.9	32,078.43	392.40	540
2.10	32,131.99	393.06	580

(注) 理論上のスプレッド = 6月限理論価格 - 3月限理論価格

3月限を1月23日に31,760円で10単位売り、6月限を32,050円で10単位買い、2月10日に自己及び委託で反対売買を行った結果である。

なお、これは終値ベースにもとづいて計算しているが実際には1日の歩みを追うことによってスプレッドの機会をつかむ必要がある。

(A.G.)

情報企業名(50音順)	提供情報
QUICK	限月別歩み、限月別4本値清算値段、総出来高、建玉残高、日経225先物概況
クオートロン(注1)	4本値、建玉残高、出来高
テレレート(注1)	4本値、建玉残高、出来高
ナイトリッター社	未提供
ブリッジ・インフォメーション(注2)	3本値(高値、安値、終値)
ポント・データ・ジャパン(注2)	歩み、3本値(高値、安値、終値)出来高、各種チャート
ロイター・ジャパン(注3)	現在値、歩み、4本値、出来高、建玉残高、上下幅*、最高値*、最低値*、関連ニュース・コード*

(注1) 共同通信社を通じて提供

(注2) 5月中に営業開始予定

(注3) \*印はロイター・フィナンシャル・フューチャー2000で提供